

教育委員会会議録

平成24年6月7日(木)

午後1時30分 開会

午後2時07分 閉会

1 議事日程

別紙のとおり

2 出席した委員

小池高弘委員長、平石賢二委員、加古博委員、豊島半七委員、笠松和永委員
野村道朗教育長

3 説明のため出席した職員

長崎栄一教育次長、岡田信管理部長、岩間博学習教育部長、加古三津代生涯学習監
杉浦慶一郎総合教育センター所長、杉浦章司総務課長、後藤由紀夫財務施設課長
溝口正己教職員課長、伊藤良一福利課長、森繁雄生涯学習課長
笹尾幸夫高等学校教育課長、稲垣寿義務教育課長、上田裕特別支援教育課長
長谷川勢子健康学習課長、大野芳樹体育スポーツ課長
安藤綾子教育企画室長、八木亨文化財保護室長
山本雅夫総務課主幹、與語勝廣教職員課主幹、伊藤泰臣教職員課主幹
山中仁教職員課主幹、齋藤典久高等学校教育課主幹
稲葉均総務課課長補佐

4 委員長報告

なし

5 教育長報告

(1) 行政文書不開示決定処分取消請求事件等について

溝口教職員課長が、愛知県に対して、行政文書不開示決定処分取消請求事件
2件及び自己情報不開示決定処分取消請求事件1件の訴訟提起があったこと
について報告。

小池委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

(2) 平成25年度愛知県公立学校教員採用選考試験の志願状況について

溝口教職員課長が、平成25年度愛知県公立学校教員採用選考試験の志願状
況について報告。

加古委員が、愛知県と第一次試験日が同じ県はどこか質問。

溝口教職員課長が、東北6県、富山県、石川県、大阪府、広島県、山口県、
香川県、福岡県、宮崎県、鹿児島県である。また、近畿地区、九州地区の他の
県においては、愛知県の試験翌日7月22日に行われる旨答弁。

加古委員が、試験日についての申し合わせの状況はどのようになっているか

質問。

溝口教職員課長が、愛知、岐阜、三重の東海三県で試験日を同じにしようという申し合わせがある旨答弁。

豊島委員が、1人あたり何県くらい受験するのか質問。

溝口教職員課長が、試験日が重ならないければ何県でも併願は可能であり、それぞれ個人による旨答弁。

加古委員が、昨年は東日本大震災の影響で東北地方の出身者が愛知県を含め全国に分散したが、今年の状態はどうなっているのか質問。

溝口教職員課長が、福島県が採用を再開する等の情報から以前の状況に戻ってきているのではないかと考えている。なお、東北地方からの本県受験者は、昨年度が126人、その前年度が96人であった旨答弁。

平石委員が、小学校教諭の3.8倍という倍率についてどのように考えるか質問。

溝口教職員課長が、一般的にはこのような試験で倍率が3倍を切ると質が落ちると言われているが、その数値は上回っている。しかし、第一次試験、第二次試験と実施していく上では少し低い数値であり、最低でも4倍以上は必要であると考えている旨答弁。

豊島委員が、採用における県内、県外出身者の割合も、志願者における割合と同じくらいになるのか質問。

溝口教職員課長が、昨年度の県内出身者の割合と比較すると、志願者の割合は65.8%、合格者の割合は78%であった旨答弁。

小池委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

(3) 愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（平成24年度第1回）について

笹尾高等学校教育課長が、平成24年5月25日に開催した愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（平成24年度第1回）の結果について報告。

加古委員が、今年度の愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議の予定と専門員会の開催回数及びメンバーについて質問。

笹尾高等学校教育課長が、愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議については、7月に第2回を開催するが、今のところ2回の予定である。専門員会については、諮問事項の内容で2回程度の開催を予定しており、メンバーについては後ほど名簿を配布させていただきたい旨答弁。

加古委員が、入学者選抜制度に関するアンケート結果について、事務局としてどのように受け止めているか質問。

笹尾高等学校教育課長が、入学者選抜制度に関するアンケートについては、中学校、高等学校の校長からの回答では、改善といっても様々な方向性がある。今回改善の方向性で一致したのが、全日制課程における群及びグループのあり方に関わるものであったので、本年度の諮問事項とした。その他に推薦入学の選抜方法等について改善する必要があるという意見も多いが、個々の主な意見の内容を見ると改善の方向性が様々であるので、事務局だけの判断ではなく、

専門員会において具体的に協議し、諮問事項以外についてもアンケート結果から得られる課題を出してもらい、その上で議論をしてまいりたいと考えている旨答弁。

加古委員が、入学者選抜制度に関しては相当慎重な検討がいると思う。専門員の意見があれば、場合によっては専門員会をもっと細かく分けて検討する機会を設ける必要もあると思うがどのように考えているか質問。

笹尾高等学校教育課長が、入学者選抜制度を改善する場合には、各方面の意見を聞き、かなり慎重に議論をしなければならないと考えており、専門員会の状況によっては今後別の会議等を立ち上げて議論をすることも想定している旨答弁。

小池委員長が、キャリア教育重視の中で、単に学校の格差という問題だけでなくいろいろな方向から入学者選抜のあり方を考えていかないといけないし、子どもたちの人生を左右するような大きな改善をするときは慎重にやらないといけないと思う旨意見。

小池委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

6 議題及び議事の概要

なし

7 通信及び請願

なし

8 自由討議

なし

9 その他

傍聴人 2名